

## 第6学年 体育科学習指導案

平成25年10月31日 木曜日 1校時

第6学年 2組 (男子21名、女子18名)

指導者 池袋 豊

### 1 単元名 ボール運動 (ネット型：ソフトバレーボール)

#### 2 単元の目標

(1) ソフトバレーボールについて、運動の楽しさや喜びに触れ、その技能を身に付けることができるようにする。

・ ネット型では、簡易化されたゲームで、チームの連係による攻撃や守備によって、攻防をすることができるようにする。 (技能)

(2) 運動に進んで取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (態度)

(3) ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てたりすることができるようにする。 (思考・判断)

#### 3 運動の一般的特性

ボール運動は、ルールや作戦を工夫して、集団対集団の攻防によって競争することに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。また、その中でもネット型ゲームは、ネットで区切られたコートの中で攻防を組み立て、一定の得点に早く達することを競い合うことを特徴としたゲームである。

ネット型ゲームにおける技能として、「ボール操作」は、サービス・パス・返球など攻防のためにボールを制御する技能である。「ボールを持たないときの動き」は、空間・ボールの落下点に走り込む、味方をサポートするなど、ボール操作に至るための動きや守備にかかわる動きに関する技能である。

#### 4 児童の実態

##### (1) 運動に触れる楽しさの体験状況

本学級の児童 (男子21名、女子18名、計39名) は元気で明るく素直である。体育に関するアンケートによると、体育が「大好き」「好き」な児童は37名おり、「楽しい」「体を動かすことが好き」「みんなで協力できる」などと答えている。しかし、「嫌い」な児童が2名おり、「運動が苦手」「怖い」と答えている。

ボール運動に関するアンケートでは、「大好き」「好き」な児童は35名おり、多くの児童は「試合が楽しい」「なかよしワードがどんどん使える」「ボールを投げたり、捕ったりするのが楽しい」などと答えている。しかし、「嫌い」な児童は4名おり、理由として「ボールに当たるのが怖い」「当たると痛い」「苦手」「上手にできない種目がある」と答えている。

日常的な運動活動においてはドッジボールを行うことが多いが、男子の一部だけがボールを投げたり、捕ったりすることを楽しんでおり、その他の児童についてはあまりボールに対する積極性が見られない。また、力強いボールを投げたり、ボールの正面に入って捕ったりする動きについても個人差が見られる。

(2) 態度、思考・判断に関する学習体験状況

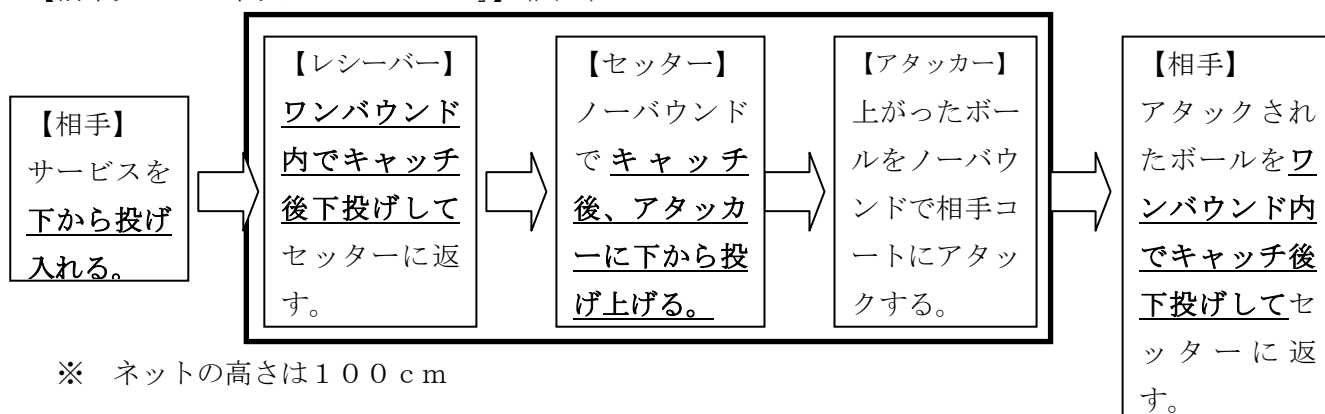
1学期に体づくり運動やボール運動(ネット型・キャッチバレーボール)の学習を行ったところ、個人としては、めあてをもち、その解決方法を考え、練習したり振り返ったりする流れをつかむことができてきた。しかし、学習のねらいやチームの特徴に応じためあてを立てたり、具体的な練習方法を考えて取り組んだりすることに対しては、まだ不十分である。徐々にではあるが、3段攻撃を意識してセッターにボールをパスしたり、トスを上げるタイミングを考えて投げたりと相手に応じた動きが見られるようになってきている。

(3) 運動の習得状況

バレーボール少年団等で経験のある児童は、男子0名、女子2名であり、バレーボールに慣れ親しんでいる児童は少ない。

前単元では、「ソフトバレーボール」のルールや取り扱う技能を簡易化した「キャッチバレーボール」を行った(下図1)。その中で、ボールの動きを先読みしてから体を向けて、その方向に素早く移動するなどのボールを持たないときの動きを身に付けてきた。また、単元前半でポジションを固定したところ、組み立ての部分で自分の役割通りの動きができるようになってきている。しかし、単元後半でローテーションを取り入れたところ、自分の役割が変わると混乱したり、攻防が続いてポジショニングが曖昧になったりする場面が見られた。

【前単元 「キャッチバレーボール」】(図1)



(4) 体力の状況

今年度(5月)の新体力テストにおける体力の状況は以下のとおりである。

A 判定		B 判定		C 判定		D 判定		E 判定	
2人		9人		11人		11人		6人	
男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
0人	2人	5人	4人	5人	6人	6人	5人	5人	1人

実態としてD及びE判定の児童が約4割であり、本学級の児童の体力は高くはないと言える。体力テストの中で、本単元と関係が深い反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げについて、県平均(平成24年度)と本学級とを比較した。その結果、男子は全ての項目で下回っていて、女子は平均的であった。

(5) 児童の運動に対する思いや願い

質問項目	結果			
	バレーボールは好きですか。また、好きになれそうですか。	大好き	好き	嫌い
	21人	14人	4人	0人
最も高めたい技能は何ですか。	アタック	サービス	ボールを持たない動き	
	30人	6人	3人	
バレーボールのどんなところが楽しみですか。(複数回答可)	自分が技能を身に付け、上手になること			32人
	友達も技能を身に付け、上手になること			29人
	技能を身に付けるためにみんなで練習すること			30人
	チームで作戦や練習方法話し合うこと			24人
	チームで考えた作戦がチームでできること			28人
	友達に教えたり教え合ったりしてみんなで高めていくこと			28人

アンケートの結果、約9割の児童がキャッチバレーボールの授業を楽しみにしていた。最も高めたい技能はアタックで、点を入れるための技能を身に付けたいと考えている児童が多い。また、自分の技能を高めたいという欲求が強く、チームで作戦や練習内容について話し合っゲームに臨みたいと願っている児童も多い傾向にある。

5 学習を進めるに当たって

そこで本単元では、「ソフトバレーボール」のルールや取り扱う技能を簡易化したゲームを行い、児童が進んで練習やゲームに取り組んだり、話し合ったりできるようにしていく。また、児童の思いや願いを生かし、単元を通してボール操作やボールを持たないときの動きを高めていけるように指導していきたい。態度面では、「わくわく体育6つのOK」を確認しながら、「なかよしワード」を使って、称賛・励ましの言葉かけができるようにする。

単元全体を「オリエンテーション」「ねらい1」「ねらい2」の3つの段階に分けて構成する。オリエンテーションを2時間設定する。バレーボールの特性である「ボール操作」「ボールを持たないときの動き」の技能を高めること、「相手コートに落とす」「自分のコートで攻撃を組み立て、3段攻撃を行う」必要があることなどを、映像を使って気付かせたい。試しのゲームでは、ルールの工夫を行うとともに自分のコートで攻撃を組み立て、3段攻撃を行うための動きについても考えさせ、ねらい1につなげていく。

ウォーミングアップ・チームスキルアップでは、本単元に必要なボール操作、ボールを持たないときの動きを高めるために、レシーブ、アタック、3段攻撃を組み立てる動きを行うことを伝え、実際に練習を行っていく。練習においては、「スキルアップテキスト」を用いる。あらかじめ、「スキルアップテキスト」の練習内容を伝えることで、ねらい1、ねらい2のチーム練習において、自分たちの作戦に応じた練習を選ぶことができるようにする。

ねらい1では、「攻防を楽しみながら、必要な技能やボールを持たないときの動きを身に付けよう」とした。ウォーミングアップ・チームスキルアップでは、レシーブやアタック、3段攻撃を組み立てる動きの練習を行い、ボール操作、ボールを持たないときの動きを高めていけるようにする。また、ローテーションの仕方、ローテーション後の自分の役割を確認しながら行うことで、自信をもってプレーできるようにする。

ねらい2では、「作戦を立てて、攻防を楽しもう」とした。ねらい1で身に付けたボール操作、ボールを持たないときの動きをもとに、ネットの高さを上げ、少し難しくしたゲームを楽しむことができるようにする。チーム力を高めるためにも、個人やチームの特徴を明確にし、作戦に応じた練習方法を選ばせ、必要感をもって練習に臨ませる。その際に、チームの特徴に気付かせるために、映像を使ったり、残しておいた作戦ボードを活用させたり、だれが点を決めたのか、どのようにして点数が入ったのかなどの記録を取らせたりする。また、教師が視点を与えたり、スキルアップテキストを活用したり、作戦ボードや道具等を使ったりして話し合い、練習が行えるようにする。そして、状況に応じた動き方、効果的な攻撃パターンなどをチームでの練習、ゲーム中に指導し、よりレベルの高い攻防を進んで楽しむことができるようにしていきたい。

体力向上に関しては、ウォーミングアップ・チームスキルアップを用いて、前後左右のフットワークやボールの落下地点に合わせて動くなどの基本的な動きを身に付けさせるようにする。

6 単元の評価規準（第5学年で指導する項目を・とし、第6学年で指導する項目を●とする）

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組もうとしている。</li> <li>● ルールを守り助け合って運動しようとしている。</li> <li>・ 運動する場や用具の安全に気を配ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ルールを工夫したり、自分のチームの特徴に合った作戦を立てたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 簡易化されたゲームで攻防をするためのボール操作やボールを持たないときの動きを身に付けている。</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>② ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① チームの特徴に応じた攻め方を知っている。</li> <li>② 自分のチームの特徴にあった作戦を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ボールの方向に体を向けて、その方向に素早く移動することができる。</li> <li>② 味方が受けやすいボールをつなぐことができる。</li> <li>③ 相手コートにボールを打ち返すことができる。</li> </ul>

7 単元の学習計画及び評価計画

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価規準			
			関 意 態	思 ・ 判	技 能	
はじめ 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリエンテーションを行う。</li> <li>・ 教材の特性や学習のねらい、進め方の確認</li> <li>・ 試しのゲーム</li> <li>・ 基本的なルール等の工夫</li> <li>・ ウォーミングアップ・チームスキルアップの内容やチームでの練習方法の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 試合の動画を見せ、既習事項や新たな視点を確認し、本単元で目指すゴールイメージをもたせる。</li> <li>○ 学習の進め方を掲示物を使って確認し、スムーズに活動できるようにする。</li> <li>○ 試しのゲームをすることで、基本的な動きやルールの工夫を行う。</li> <li>○ 「スキルアップタイム」の内容やチームでの練習方法を「スキルアップテキスト」をもとに確認し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</li> </ul>	②			
なか 3 8	基本的な流れ 1 集合、整列、挨拶、用具準備 2 「わくわく体育6つのOK」の確認 3 学習の進め方とめあての確認、チームの作戦の確認 4 準備運動・ウォーミングアップ 5 ゲーム1 6 チームの作戦の話合い、チームスキルアップ 7 ゲーム2	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">                         ねらい1 攻防を楽しみながら、必要な技能やボールを持たないときの動きを身に付けよう。                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「拾う」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レシーブ</li> <li>・ サービスカットからの簡単な攻撃</li> </ul> </li> <li>○ 「組み立てる」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レシーブ</li> <li>・ トス</li> </ul> </li> <li>○ 「落とす」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アタック</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポジションが変わっても、自分の役割通りの動きができるように、簡易化したゲームから始めていく。</li> <li>○ ウォーミングアップでは、個人の技能を保証するために、同じ練習を行う。チームスキルアップでは、チームの練習に必要な技能やボールを持たないときの動きを身に付けさせる。</li> </ul>		①
					②	
					③	
		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">                         ねらい2 作戦を立てて、攻防を楽しもう。                     </div>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チームの特徴に応じた作戦を立てて練習やゲームをする①</li> <li>○ チームの特徴に応じた作戦を立てて練習やゲームをする②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ねらい1と同じ流れで行う。練習方法や作戦が生かされているかを確認するために、ゲーム①と②では同じチームと対戦させるようにする。ねらい2では、ウォーミングアップもチームでの練習の時間とする。</li> </ul>		①	
					②	

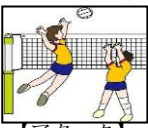

本時 8	8 本時の反省、 次時の確認 9 後片付け	○ チームの特徴に応じた作戦を立てて練習やゲームをする③	○ 指導者が試合を観察して長所を伝えたり、データから分かることに気付かせたりすることで、チームの特徴が捉えられるようにする。 ○ チーム毎の練習の際に、指導者が模範を示したり、なかよしワードを活用させたりすることで、技能や意欲を高められるようにする。		③	
まとめ 9	○ 「6年2組バレーボール大会 「～作戦を立てて、楽しく攻防をしよう～」 ・対抗戦 ・振り返り		○ 1位を決める大会を行うことで、児童の意欲を高め、楽しく攻防を行うことができるようにする。 ○ 本単元を振り返り、学習のまとめをさせる。	①		


## 8 本時の学習（8/9）

### （1）本時の目標

- 自分のチームの特徴に合った作戦を立てることができるようにする。（思考・判断②）

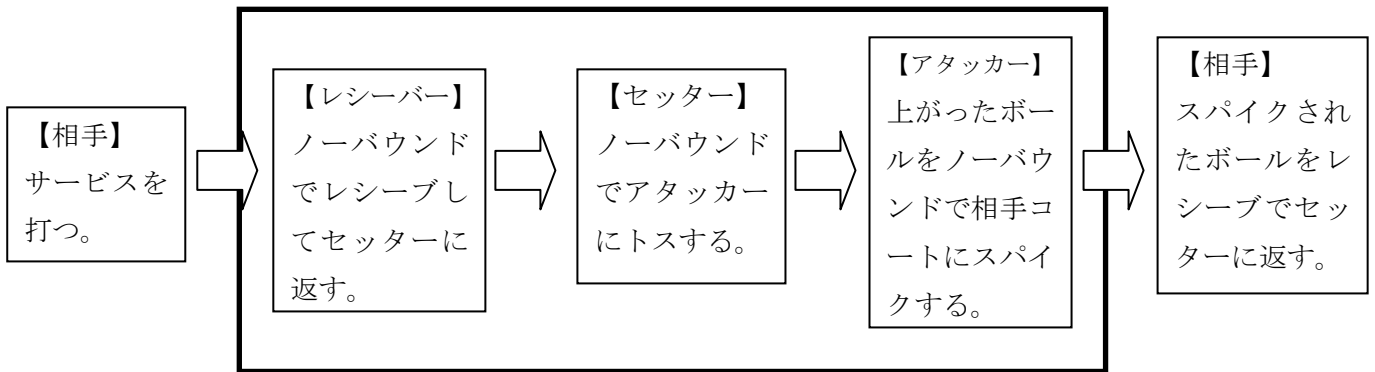
### （2）学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価項目 【Aの例】 (評価方法)	努力を要する状況と判断される児童への手立て
はじめ (7)	1 集合、整列、挨拶、 用具準備  2 「わくわく体育6つのOK」の確認  3 学習の進め方とめあての確認・チームの作戦の確認	○ 用具準備がスムーズに進むようにあらかじめ役割分担を決めておく。  ○ <b>前時の様子を想起させ、わくわく体育6つのOKの中のどれに焦点を当てたらよいか考えさせる。</b>  ○ 前回のゲームを振り返り、試合での動き方等を確認する。		
めあて 自分のチームに合った作戦を立て、練習やゲームに取り組もう。				
なか	4 準備運動、ウォーミングアップ (4)   【アタック】 【レシーブ】	○ <b>チームでの組み立て、レシーブ、アタックの練習を行い、スキルアップにつなげられるようにする。</b>		

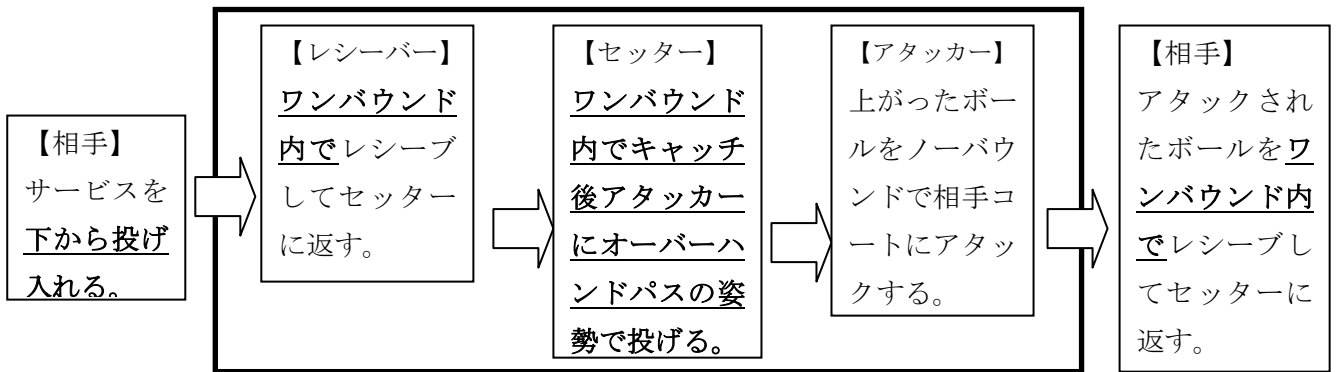
<p>な か か (30)</p>	<p>5 ゲーム1(9)</p> <p>6 チームの作戦の話 合い、チームスキルア ップ(8) 【チームでの練習】</p>  <p>7 ゲーム2(9)</p>	<p>○ 「なかよしワード」を積極的 に使わせ、チームの雰囲気を高 められるようにする。</p> <p>○ ゲーム後に振り返りがしや すいように、必要に応じて全体 を集め、助言を行う。また、作 戦に応じた動きなどを把握し、 話合いの際に助言を行う。</p> <p>○ <b>チーム毎にゲーム1を受け ての作戦を考える際に、前時ま でのデータや作戦ボードを用 いて、話合いを活性化させるよ うにする。</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【助言例】レシーブがうまくコート内 に返せていないね。レシーブを必ずセ ッターに戻す練習をしてみたらどう。</p> </div> <p>○ スキルアップテキストを用 意しておくことで、チームの特 徴に合った練習を行えるよう にする。</p> <p>○ チームの作戦を意識したゲ ームをさせるために、チームの 作戦ボードや作戦シートをも とに声かけ（助言）を行う。</p> <p>○ 児童の自信や意欲を高める ために、積極的に賞賛し、指示 や助言を行う。</p>	<p>○ 自分のチー ムの特徴に合 った作戦を立て ている。 (思・判②)</p> <p>【Aの例】</p> <p>☆ ゲーム1を 振り返り、自 分のチームの 特徴に合った 作戦を立てて いる。 (観察・作戦 シート)</p>	<p>○ 作戦を立て るために、ゲ ーム1からで きた点、でき なかった点を 作戦ボードや データを用い て確認させ、 話合いに参加 できるように 助言する。</p>
<p>お わ り (8)</p>	<p>8 本時の反省、次時の 確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ チームの振り返り</li> <li>○ 全体での振り返り</li> <li>○ わくわく体育6 つのOK</li> </ul> <p>9 後片付け</p>	<p>○ <b>学習カードなどをもとに本 時学習をチームで振り返らせ、 次時への意欲を高める。また、 全体で意見を共有し、できた 点、新たな特徴を共有する。</b></p> <p>○ 役割分担を行い、スムーズに 片付けが終わるようにする。</p>		

<資料1> 本単元で行うソフトバレーボールと実際のバレーボールのボール操作・動きの違い

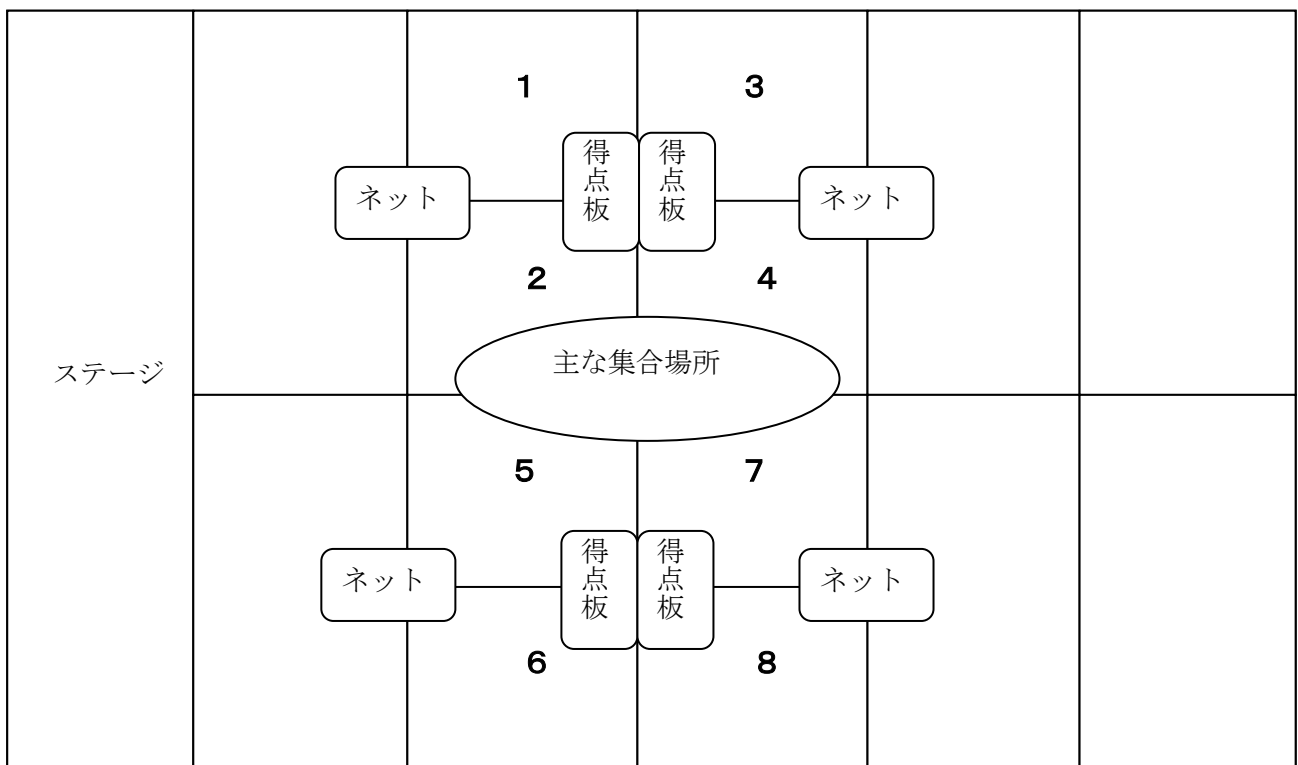
【バレーボールの場合】 ネットの高さは男子が243cm、女子が224cm



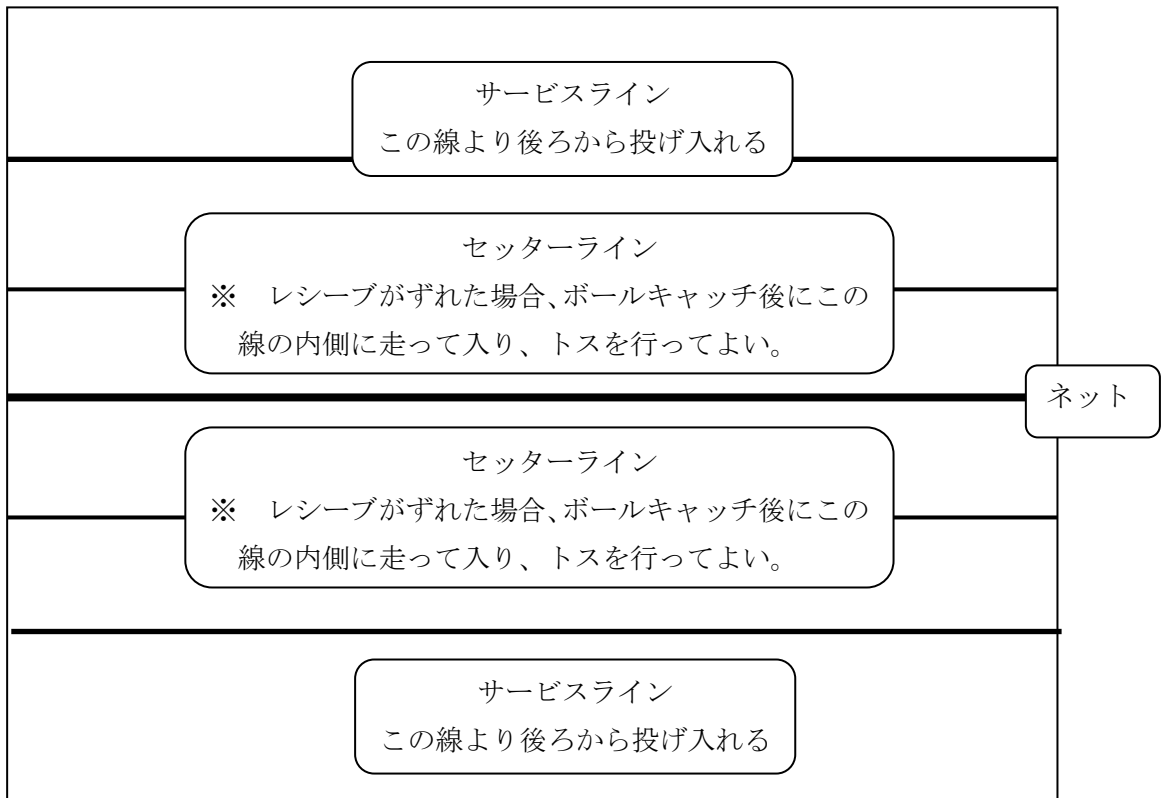
【本時におけるソフトバレーボールの場合】 ネットの高さは150cm



<資料2> 場の設定







<資料4> ローテーションの仕方

※ サービスは交互に行う。自分のチームがサービスするときローテーション(時計回り)を行う。

